

CASBEE神戸ver.2

評価結果

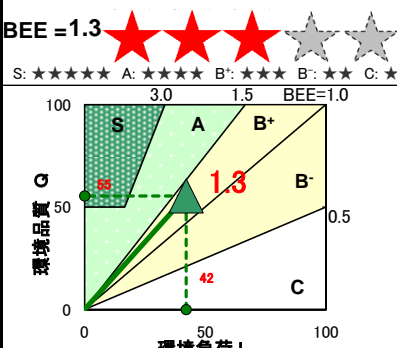
■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

{使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2/CASBEE-BD_NC_2014(4.3.1)}

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	ワークレ住吉オーナーズレジデンス	階数	地上8F		
建設地	神戸市東灘区住吉宮町3丁目134番	構造	RC造		
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	289人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2017年9月5日		
敷地面積	2,655 m ²	作成者	瀬戸本淳建築研究室 安垣		
建築面積	1,274 m ²	確認日			
延床面積	6,065 m ²	確認者			

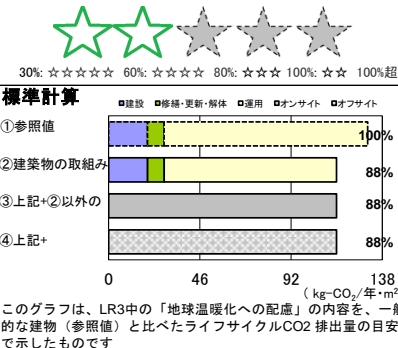
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3



S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



標準計算

①参照値 100%

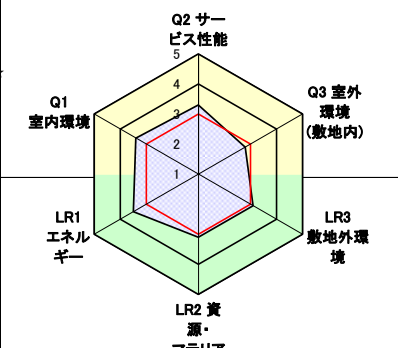
②建築物の取組み 88%

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q2 サービス性能 5

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

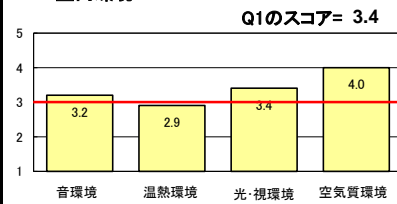
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

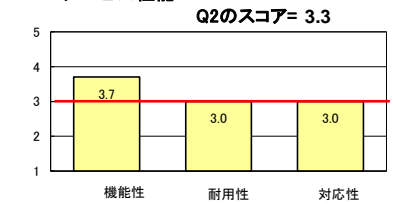
Q1のスコア = 3.4



音環境 2.9, 温熱環境 3.4, 光・視環境 4.0, 空気質環境 3.2

Q2 サービス性能

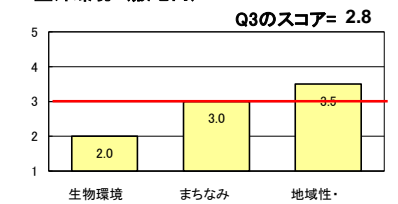
Q2のスコア = 3.3



機能性 3.7, 耐用性 3.0, 対応性 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

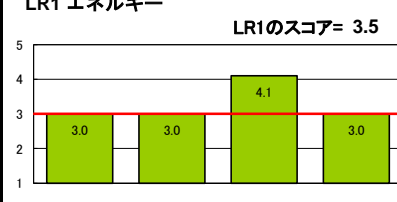


生物環境 2.0, まちなみ 3.0, 地域性・敷地外環境 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

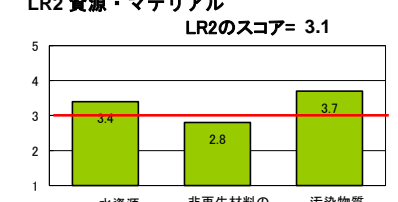
LR1のスコア = 3.5



建物外皮の 3.0, 自然エネ 3.0, 設備システ 4.1, 効率的 3.0

LR2 資源・マテリアル

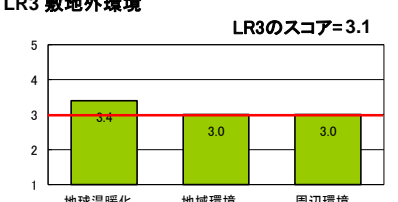
LR2のスコア = 3.1







水資源 3.4, 非再生材料の 2.8, 汚染物質 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1



地球温暖化 3.4, 地域環境 3.0, 周辺環境 3.0

3 CASBEE神戸の重要項目		
<h4>バリアフリー計画</h4> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p>  <p>4.0</p>	<h4>建築物の耐震性等</h4> <p>Q-2/2.1 耐震・免震</p>  <p>3.0</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p>  <p>3.4</p>	<h4>まちなみ・景観への配慮</h4> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p>  <p>3.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。</p>		
<p>配慮の概要</p> <p>建築基準法に定められた耐震性を有する。熱源の分散化を行っている。</p>		
<p>配慮の概要</p>		
<p>その他の配慮事項</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される